



# 日本ジェネリック 株式会社 つくば工場

## 贈呈理由

環境性や負荷平準化を目的に積極的に蓄熱方式を検討し採用している



工場外観



蓄熱槽



プリンターボ冷凍機

日本ジェネリック株式会社は、2005年1月に保険薬局業界大手である日本調剤株式会社の100%子会社として発足した。

ジェネリック医薬品は、増大する国民医療費に対処する有力な手段として期待されており、調剤薬局事業を通じて培った知識と経験をもとに、良質なジェネリック医薬品を数多くの患者さまにお届けすることで、家計への負担を抑えるとともに国の医療費抑制の一助となることを社会的使命とする同社の主力工場である。

### 氷蓄熱設備の採用により省エネ・省コスト・省CO<sub>2</sub>・電力負荷平準化に貢献

生産ラインに必要な冷熱源負荷の増加に対応すべく、従来のガス焚冷温水発生機と比べ、省エネ性・経済性・環境性に優れた氷蓄熱設備を導入。熱源機は高効率なプリンターボ冷凍機を採用することで、冷凍能力の増強と機器設置スペースの縮小を図った。

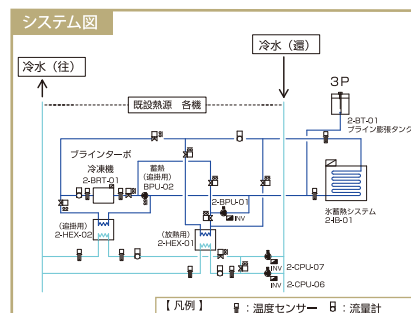
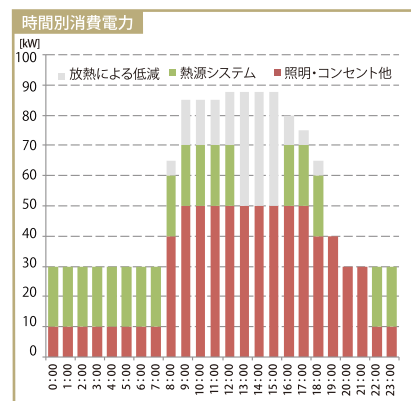
運用面では蓄熱運転と追い掛け運転が行えるシステムとし、蓄熱槽容量はピー

ク時で施設全体の冷熱負荷の50%以上に対応可能。5時間の熱源機ピークカット運転を可能とし、省エネ法改正(H26.4.1)における電力負担の平準化の推進にも大きく貢献できる。

なお、ブライン側の放熱ポンプと蓄熱ポンプ、および冷水側の放熱ポンプと追い掛けポンプは、相互にバックアップ可能な配管回路構成とし、搬送機器の故障リスクにも対応したシステムとなっている。

### 見える化による更なる効率化

運用面においても熱源機器のデータを計測し、エネルギーの見える化により、機器運転状況をリアルタイムに情報管理することで最適運転パターンを構築した。今後もさらに、既設の熱源機器を含め、季節毎や負荷状況に応じたより効率的なプログラムの導入・運用・チューニングによる電力負荷・環境負荷の低減など、工場全体での省エネルギー活動を通じた社会への貢献に継続して取り組んで行く。



### 日本ジェネリック株式会社 つくば工場

所在地:茨城県つくば市和台23  
蓄熱設備設計:千代田テクノエース(株)  
蓄熱設備施工:千代田テクノエース(株)  
施工業者:高砂熱学工業(株)  
延床面積:37,467㎡  
竣工:2014年8月(改修)

■蓄熱設備概要  
エコ・アイス(セントラル)  
熱源機:プリンターボ冷凍機 1441.7kW  
(製氷時)×1台[三菱重工業]  
蓄熱槽:223.34㎡(積水アクアシステム)